

グルタミン酸脱水素酵素、組換え

Cat. No. NATE-1145

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 グルタミン酸脱水素酵素 (GLDH) は、ほとんどの微生物および真核生物のミトコンドリアに存在する酵素であり、尿素合成に必要な他のいくつかの酵素と同様です。この酵素は、グルタミン酸を α -ケトグルタル酸に交換し、その逆も行います。動物では、生成されたアンモニアは通常、尿素回路の基質として使用されます。一般的に、 α -ケトグルタル酸からグルタミン酸への反応は哺乳類では発生せず、グルタミン酸脱水素酵素の平衡はアンモニアと α -ケトグルタル酸の生成を優先します。

用途 グルタミン酸脱水素酵素 (GLDH) は、グルタミン酸脱水素反応を除いて、L-バリン、L-2-アミノブタン酸、L-ロイシンなどの他のアミノ酸の脱アミノ反応も触媒することができます。主な測定方法は連続モニタリングです。さらに、GLDHは α -ケトグルタル酸、H⁺、アンモニア、NADHの反応を触媒してグルタミン酸を生成します。NADHは多くの生化学的アッセイの色源であるため、使用するGLDHによって触媒される反応は、生化学的アッセイの最終ステップを導出するために広く使用されています。

別名 グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素 (NAD⁺); グルタミン酸酸化還元酵素; グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; NAD⁺-依存性グルタミン酸脱水素酵素; NAD⁺-依存性グルタミン酸脱水素酵素; NAD⁺-グルタミン酸脱水素酵素; NAD⁺-連結グルタミン酸脱水素酵素; NAD⁺-連結グルタミン酸脱水素酵素; NAD⁺-特異的グルタミン酸脱水素酵素; NAD⁺-特異的グルタミン酸脱水素酵素; NAD⁺-グルタミン酸酸化還元酵素; NADH-連結グルタミン酸脱水素酵素; GLDH; EC 1.4.1.2

製品情報

外形	白い粉末、凍結乾燥された
EC番号	EC 1.4.1.2
CAS登録番号	9001-46-1
分子量	About 65kDa (SDS-PAGE detection)
純度	>90% (SDS-PAGEテスト)
活性	>400U/mg
緩衝液	20mM トリス, pH8.0
単位定義	1ユニットは、pH 8.3および37°Cで1 μ molのNADHを1分あたり交換します。

保管・発送情報

保存方法 4°C、長期保存のために-20°Cで保管してください。